HAMAKITANISHI　HIGH SCHOOL 2024.12 月号

図書館だより

早いもので今年も終わりに近づいてきましたね。皆さんにとって 2024 年はどのような一年だったのでしょうか？又、心に残る素敵な本に出会えたでしょうか？三年生にとっては、当校図書館を利用できるのもあと僅かになりますので、時間ができましたら是非足を運んで一冊でも多く本を読んで下さいね。
又、これから受験だという生徒さんは、体調に気をつけて頑張って下さい。

お薦めの新刊本

架空犯　　東野圭吾

都内の高級住宅地で起こった火災。焼け跡からは都議会議員と元女優の夫婦の遺体が発見された。警視庁捜査一課の五代は所轄の刑事、山尾と捜査を始めることになるが、当初の無理心中から殺人事件に様変わりしていく…。
2021 年に発売された「白鳥とコウモリ」の世界が再び味わえると、発売前から話題となっていた作品です。前回登場した五代刑事が登場し、変わらずの鋭い観察眼や判断力で事件解決に近づいていく。筆者ならではのストーリー展開も素晴らしいのですが、やはり読みやすさは他の作者にはないものなのでは…
当校でも東野圭吾の人気はいまだに衰えず、かなり年数が経った作品も手に取ってくれています。「架空犯」を読んだ後には、是非「白鳥とコウモリ」も読んで下さい。それぞれのタイトルの意味を考えるとより面白くなりますよ！

藍を継ぐ海　　伊与原　新

ドラマ化された「宙わたる教室」が話題の伊与原氏の新作。
今回の内容は、自然科学系物語で五編で構成された短編集です。萩焼、オオカミ犬、原爆、隕石、ウミガメの物語という、少し馴染の薄いテーマでありますが、それがかえって新鮮で面白く読めます。表題となっている「藍を継ぐ海」は、少女がウミガメの産卵にこだわり、守ろうとする姿を描いており、彼女が子ガメを自身と置き換えて見ている姿がせつない…。でも生きていく自然のパワーを感じますよ！「祈りの破片」は原爆の後の破片を集める男性、その理由を知ると胸が熱くなります。筆者自身も理系大学の出身の為、専門的な内容を散りばめながらも、人間としての深い繋がりや絆を感じさせてくれる作品。お薦めですよ！

10 月 28 日～11 月 11 日に、浜北西読書週間を実施し、2 年生を対象に一人一冊の目標を立て、図書委員さんに声掛けをしてもらいました。今後もこのような機会を設けていきますので今回参加できなかった人も是非参加してくださいね！

結果　　学年達成率　14%　　最高達成クラス　33%

冬休み貸出図書について

貸出期間　　12 月 16 日（月）～12 月 20 日（金）　　貸出冊数　　一人三冊